

火山化学

— 火山ガス研究の現在と展望 —

1. 萬年一剛・川口允孝 455
特集「火山化学—火山ガス研究の現在と展望—」の趣旨
と概要
2. 大場 武 459
火山ガス組成の時間変化：箱根山，草津白根山，えびの
高原硫黄山の事例
3. 大庭憲二・森田博義・山本泰道・大場 武 469
箱根火山ガス C/S 比の定点自動観測
4. 風早竜之介・森 俊哉・横尾亮彦・中畝大介・Burton Mike 477
FTIR 観測による阿蘇の火山ガス組成の推定
5. 高木朗充 483
衛星から見積もられた日本の火山周辺の二酸化硫黄分布
6. 大石雅之・山村卓也・秋元良太郎・作野 魁・山岸 遼・野崎翔太郎・
阿部優大・大森茂生・越谷英樹 491
吾妻山における 2018-19 年活動以降の噴気及び地熱域の
変遷
7. 高橋 良 499
活火山内部の熱水変質帯の物質科学的検討
8. 萬年一剛 506
火山活動の活発化と噴気温度そして熱水系の状態
9. 北村有迅・川端訓代 512
火山地帯における温泉水中ラドン濃度の分布と時系列変化

筆者：1. 神奈川温泉地学研・東大, 2. 東海大, 3. ジェイエムエス・東
海大, 4. 産総研・東大・京大・ブルカー・ジャパン・マンチェスター大, 5.
気象研, 6. 仙台管区气象台・福島地方气象台, 7. 道総研, 8. 神奈川温
泉地学研, 9. 鹿児島大